

名前 _____

日付 _____

得点 _____

1 / 4

1 答 2 手伝わたら、後で助けてもらえた。情けは人のためならずだ。

【情けは人のためならず】人への親切は、めぐって自分に返ってくる

- × 1 「ためにならない」という誤読
- × 3 同じく誤読
- × 4 同情を否定する言葉ではない

覚え方 親切にした結果が自分に返る場面で使う

例 情けは人のためならず、困った人には手を貸そう。

2 答 2 あの人の失敗を他山の石として、気を引きしめる。

【他山の石】他人の失敗や欠点も、自分をみがく役に立つ

- × 1 成功や手本には使わない
- × 3 同じく誤用
- × 4 それは「対岸の火事」

覚え方 他人の「失敗」に対して使う

例 同僚のミスを他山の石として、手順を見直した。

3 答 2 彼にこの程度の仕事は役不足だ。もっと難しい任務を与えよう。

【役不足】その人の実力に対して、役目が軽すぎる

- × 1 謙遜のつもりで使うと逆の意味になる
- × 3 それは「力不足」
- × 4 同じく「力不足」

覚え方 「役」が足りない。人が足りないのではない

例 主役級の彼に脇役は役不足だ。

4 答 2 枯れ木も山のにぎわいですが、私も参加させてください。

【枯れ木も山のにぎわい】つまらないものでも、ないよりはまし

- × 1 他人に使うと失礼になる
- × 3 ほめ言葉ではない
- × 4 同じく誤用

覚え方 自分をへりくだって言うときにだけ使う

例 枯れ木も山のにぎわいと申しますが、参加いたします。

5 答 2 好調な流れに棹さして、一気に決着をつけた。

【流れに棹さす】流れに乗って、いっそう勢いを増す

- × 1 逆らう意味で使うのは誤り
- × 3 同じく誤用
- × 4 同じく誤用

覚え方 棹で川底を押して舟を進める、つまり勢いを増す動作

例 追い風に乗れ、流れに棹さして売上を伸ばした。

名前 _____

日付 _____

得点 _____

2 / 4

6 答 2 遠回りでも確実な方法を選んだ。急がば回れた。

【急がば回れ】急ぐときほど、安全な道に行くほうが早い

- × 1 急ぐ意味ではない
- × 3 それは「善は急げ」
- × 4 省略を勧める言葉ではない

覚え方 「遠回りでも確実に」という場面で使う

例 急がば回れ、基礎から固め直そう。

7 答 2 かわいい子には旅をさせよと、あえて一人で行かせた。

【かわいい子には旅をさせよ】子を思うなら、苦労を経験させたほうがよい

- × 1 甘やかす意味ではない
- × 3 そばにいる意味ではない
- × 4 実際の旅行の話ではない

覚え方 あえて苦労させることが愛情だという教え

例 かわいい子には旅をさせよ、留学を認めることにした。

8 答 2 弟も制服を着ると立派に見える。馬子にも衣装だ。

【馬子にも衣装】誰でも、身なりを整えれば立派に見える

- × 1 目上の人に使うと失礼
- × 3 服の値段の話ではない
- × 4 目上の人に使うと失礼

覚え方 身内や自分に対して使う。目上には使わない

例 写真の私も馬子にも衣装で、よく見える。

9 答 2 値段が高くて、購入に二の足を踏んでいる。

【二の足を踏む】ためらって、ぐずぐずする

- × 1 実際の動作ではない
- × 3 すぐ行動する意味ではない
- × 4 ダンスの話ではない

覚え方 一歩目は出たが、二歩目が出ない様子から

例 留学を勧められたが、費用の面で二の足を踏んだ。

10 答 2 苦しくても続けよう。石の上にも三年という。

【石の上にも三年】辛抱を続ければ、いつか成し遂げられる

- × 1 すぐには結果が出ないという意味
- × 3 期間を数える言葉ではない
- × 4 辞める理由にはならない

覚え方 「三年」は長い年月のたとえ

例 石の上にも三年、あきらめずに続けたい。

名前 _____

日付 _____

得点 _____

3 / 4

11 答 2 探し物が自分の机にあった。灯台もと暗しだ。

【灯台もと暗し】身近なことは、かえって気づきにくい

- × 1 実際の灯台の話ではない
- × 3 遠くを探す意味ではない
- × 4 暗さの話ではない

覚え方 身近すぎて気づかなかった場面で使う

例 答えは教科書にあった。灯台もと暗しだった。

12 答 2 退職前に引き継ぎを済ませた。立つ鳥あとを濁さずだ。

【立つ鳥あとを濁さず】去るときは、きれいに始末をする

- × 1 実際の鳥の話ではない
- × 3 静かさの話ではない
- × 4 水質の話ではない

覚え方 「後始末をする」場面で使う

例 立つ鳥あとを濁さず、机を片づけて卒業した。

13 答 2 彼は普段目立たないが、実は名手だ。能ある鷹は爪を隠すだ。

【能ある鷹は爪を隠す】実力のある者は、それを見せびらかさない

- × 1 怠けることではない
- × 3 自慢を勧める言葉ではない
- × 4 鳥の習性の話ではない

覚え方 実力があるのに謙虚な人に使う

例 能ある鷹は爪を隠すで、彼は多くを語らない。

14 答 2 あの名人が書き損じた。弘法にも筆の誤りだ。

【弘法にも筆の誤り】名人でも、ときには失敗する

- × 1 初心者には使わない
- × 3 それは「弘法筆を選ばず」
- × 4 自分に使うのは不適切

覚え方 名人・熟練者の失敗に対して使う

例 ベテラン選手の凡ミス、弘法にも筆の誤りだ。

15 答 2 何もせずに大金が入った。ぬれ手で粟だ。

【ぬれ手で粟】苦労せずに、大きな利益を得る

- × 1 苦労した場合には使わない
- × 3 実際の動作の話ではない
- × 4 努力の話ではない

覚え方 労せず利益を得た場面で使う。ややあきれた調子を含む

例 値上がりで、ぬれ手で粟の利益を得た。

名前 _____

日付 _____

得点 _____

4 / 4

16 答 2 大工なのに自宅は修理していない。紺屋の白袴だ。**【紺屋の白袴】** 他人のために働いて、自分のことは手つかずである

- × 1 実際の服装の話ではない
- × 3 清潔さの話ではない
- × 4 好みの話ではない

覚え方 専門家が自分のことは手つかず、という場面で使う

例 美容師の彼女は紺屋の白袴で、いつも髪をまとめたただけだ。

17 答 2 できることはやった。あとは果報は寝て待てだ。**【果報は寝て待て】** 幸運は焦らず、時を待つのがよい

- × 1 何もしない口実ではない
- × 3 努力を否定する言葉ではない
- × 4 睡眠の話ではない

覚え方 やるべきことをしたうえで、結果を焦らず待つ

例 出願は済ませた。果報は寝て待てだ。

18 答 2 みんなで話し合い、よい案が出た。三人寄れば文殊の知恵だ。**【三人寄れば文殊の知恵】** 凡人でも、集まれば良い考えが出る

- × 1 それは「船頭多くして船山に登る」
- × 3 人数の制限の話ではない
- × 4 菩薩の数の話ではない

覚え方 協力して良い結果が出た場面で使う

例 三人寄れば文殊の知恵、相談してよかった。

19 答 2 全国大会に出て、自分の未熟さを知った。井の中の蛙大海を知らずだった。**【井の中の蛙大海を知らず】** 狭い世界しか知らず、広い世界を知らない

- × 1 生物の話ではない
- × 3 視野が狭いという意味
- × 4 同情を表す言葉ではない

覚え方 自分の狭さに気づいた場面で使う

例 外の世界を知り、井の中の蛙大海を知らずだったと痛感した。

20 答 2 両方に手を出して、どちらも中途半端に終わった。二兎を追う者は一兎をも得ずだ。**【二兎を追う者は一兎をも得ず】** 欲張ると、どちらも得られない

- × 1 成功した場合には使わない
- × 3 実際の狩りの話ではない
- × 4 意味が逆

覚え方 欲張って失敗した場面で使う

例 二兎を追う者は一兎をも得ず。まず一つに集中しよう。